

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	16	大学等名	富山短期大学
テーマ	テーマⅡ 学修成果の可視化		

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・3つのポリシーの策定、改革のサイクルを回すための5分野の取組など、大学全体としての取組が行われている。AP事業をうまく利用し、改革を加速化させていると評価できる。
- ・事業の具体的な各取組は概ね着実に実施されている。特に、学修成果別評価基準（ルーブリック）に沿った成績評価や、Web シラバス・システムにカリキュラム・マップの作成機能等の多機能を追加して、統合的に取組を実施していることは評価できる。
- ・学長を中心とした全学的な実施体制の組織化がなされている。また、PDCAを回すための「アクションプラン」が作られ、それを基に自己評価を実施し、その結果を「アクションプラン・レビュー」にまとめて公表している。エビデンスに基づく各種の改善、学修成果の可視化がなされており、評価できる。
- ・短期大学に焦点を当て、多面的に事業成果の普及活動を行っていることは評価できる。また、事業の体制的な継続性、資金的な継続性も十分に見込めるものと評価できる。